

第6次白潟地区 地域福祉活動計画

実施期間 2024年度（令和 6年度）～
2028年度（令和10年度）



2024年3月 策定

白潟地区社会福祉協議会

目次

1. はじめに 白潟地区社会福祉協議会 会長 飯塚 修	P 1
2. 白潟地区の概要	P 2～P 3
3. 第5次〔2019年度（令和元年度）～2023年度（令和5年度）〕 白潟地区地域福祉活動計画の評価	P 4～P 6
4. 白潟地区の現状と今後の課題	P 6
5. 「地域の支えあい」アンケート実施結果	P 7
6. 第6次（2024年度（令和6年度）～2028年度（令和10年度）） 白潟地区地域福祉活動計画の方針	P 7～P 8
7. 第6次白潟地区地域福祉活動計画の策定委員	P 9
8. 第6次白潟地区地域福祉活動計画の検討状況	P 10
〔添付資料〕	
（1）第6次白潟地区地域福祉活動計画書	別冊 1
（2）「地域の支えあい」アンケート集計表	別冊 2

1. はじめに

日頃は白潟地区の地域福祉活動にご理解・ご協力をいただき、誠に有難うございます。

さて、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられた事から、地域福祉活動もコロナ禍前の活動に戻りつつありますが、今年は元日から能登半島地震が発生し、甚大な被害により現在も復旧が続いているなど、近年、全国大で自然災害が多発しているため、特に災害時における独居高齢者、障がい者等への支援体制を強化する必要性があり、「自助」「公助」は元より、地域の支え合いによる「共助」の重要性を改めて感じているところです。

この様な中で、市内の各地区単位で地域福祉活動計画を策定するよう求められており、白潟地区においては平成13年度（2001）に第1次計画を策定以来、令和5年度までに5度にわたって計画を更新してきました。

この度、第6次計画を策定するに当たり、地区内で暮らされている多くの皆様のご意見等を基に策定することとし、前回の平成30年度の第5次計画策定時と同様、地区内全世帯対象のアンケートを実施させていただき、令和6年度から5年間にわたる「第6次白潟地区地域福祉活動計画」を策定いたしました。

この計画での福祉目標として『お互いさまの白潟福祉まちづくり』を設定いたしました。が、計画を展開するに当たっては、住民にとって一番の身近な存在である、各町内会・自治会や民生児童委員および福祉推進員等を中心として福祉の町づくりを図っていく必要がありますので、引き続き各組織と連携を取り、老若男女が、いつまでも安心・安全に住み続けられる地域福祉づくりを推進して行きたいと思えます。

また、活動展開に当たりましては、PDCAサイクルを回しながら活動を振り返り、次年度に向けて具体的活動を充実させるなど、より実効ある活動に尽力したいと思います。

【PLAN（計画）、DO（実行）、CHECK（評価）、ACTION（改善）】

今回の計画策定に当たりましてご尽力いただきました計画策定委員会および計画策定実行委員会の皆様をはじめ、住民アンケートにご協力いただきました各町内会長・自治会長様および地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

2024年（令和6年）3月

白潟地区社会福祉協議会

会長 飯 塚 修

2. 白潟地区の概要

白潟地区は松江藩開府以前から水運の拠点として栄え、松江市の中心市街地として発展を続けるとともに、水の都松江「宍道湖・大橋川」の沿川に位置する美しい景観や、多くの神社・仏閣もあり、立地環境に恵まれた地区で、城下町としての風情を残しています。

しかしながら、郊外大型店舗への変化等により商店街が衰退するとともに、少子高齢化によるドーナツ化現象等から、人口が3,000人を切る等の減少が進むとともに、現在進捗している大橋川拡幅工事に伴い、白潟地区の町づくりも大きな変貌を迎えようとしています。

このような環境下において、地区高齢化率が37.40%と高い状況が続いているとともに、一人暮らし高齢者数（割合）も増加傾向が伺えます。特に最近では食材や日用品を買える店が少なくなったという声も多く聞きますが、住み慣れた地域で、いつまでも「安心・安全」に暮らしていくことが出来るまちづくりに引き続き取り組む必要があり、今は「支える側」であっても、いずれは「支えられる側」になることを意識・考えながら、住民同士が互いに支え合うことが重要になって来ています。

(1) 人口

白潟地区	H11 H12.3.31	H13 H14.3.31 (増減)	H16 H17.3.31 (増減)	H21 H22.3.31 (増減)	H25 H26.3.31 (増減)	H29 H30.3.31 (増減)	R4 R5.3.31 (増減)
人口	3,695	3,811 ▲116	3,628 ▲183	3,387 ▲241	3,229 ▲158	3,078 ▲151	2,928 ▲150
65歳以上人口	1,078	1,118 +40	1,140 +22	1,161 +21	1,145 ▲16	1,117 ▲28	1,095 ▲22
世帯数	1,634	1,720 +86	1,716 ▲4	1,664 ▲52	1,682 +18	1,664 ▲18	1,690 +26
高齢者世帯数	784	806 +22	823 +17	579 ▲244	611 +32	614 +3	597 ▲17
高齢化率(%)	29.17	29.34 +0.17	31.42 +2.08	34.28 +2.86	35.46 +1.18	36.29 +0.83	37.40 +1.11
〔松江市大〕	17.77	18.91	20.28	24.17	25.75	28.83	30.39
一人暮らし 高齢者数	(210)	(208) ▲2	(294) +86	368 +74	412 +44	417 +5	414 ▲3

【出典】松江市高齢者人口等統計表より

() 内は第5次白潟地区地域福祉活動計画より

(2) 社会資源

項目	白潟地区	参考
買物できる所	天神町商店街，白潟本町商店街，ホック豎町店，ローソン・ポプラ，セブンイレブン，ファミリーマート	みしまやさいか店
金融機関	山陰合同銀行本店，米子信用金庫，島根中央信用金庫 島根銀行卸団地支店	
郵便局	白潟本町郵便局，嫁島郵便局	
警察署・交番	松江警察署	駅前交番
公共施設	集会所（和多見町，灘町，幸町，横浜町，県営幸町団地），白潟公民館，スティックビル，県立美術館， 神社6件，寺25件	
公共交通機関	市営バス，一畑バス	
教育機関	白潟保育所，中央第2児童クラブ，こそけん中央校	第三中学校 中央小学校 中央幼稚園 袖師保育所 中央児童クラブ
医療機関	佐藤内科，桑原整形，ひとみ歯科，四方歯科， 勝部歯科，大町歯科，清水歯科， 奥田クリニック，秀黄内科 等	小林医院 福間内科 釜瀬クリニック
高齢者福祉施設	敬愛苑，松江センターアゼリア，シニアコート嫁島町	
障がい者，その他 福祉施設	江友，まるべりー天神（桑友），こだま，クックラ， ポレポレ，木かげ，松江さくら会 等	

(3) 地区内の組織・関係団体（順不同）

- ・白潟地区社会福祉協議会
- ・白潟地区町内会連合会
- ・白潟公民館運営協議会
- ・白潟地区民生児童委員協議会
- ・白潟地区福祉推進員の会
- ・白潟高齢者クラブ連合会
- ・白潟地区防災会議
- ・白潟地区災害対策本部
- ・白潟地区自主防災隊連合会
- ・白潟地区地域安全推進員会
- ・白潟青色パトロール隊
- ・松江駅前交番連絡協議会
- ・白潟地区交通安全対策協議会
- ・白潟地区交通安全協会
- ・松江市交通指導員
- ・白潟地区人権教育推進協議会
- ・白潟地区市民憲章推進協議会
- ・白潟地区青少年健全育成協議会
- ・白潟地区子ども会育成会連絡協議会
- ・小中一貫教育地域推進協議会
- ・中央子ども広場運営委員会
- ・白潟地区体育協会
- ・白潟健康まつえ21推進隊
- ・白潟地区保健協力員
- ・保護司
- ・更生保護女性会
- ・白潟遺族会
- ・松江警察署少年補導委員
- ・母子保健推進員
- ・生活環境保全推進員

3. 第5次（2019年度～2023年度）白潟地区地域福祉活動計画の評価

【計画概要】

〔福祉目標〕 白潟地区3,000人の声を拾って、
『お互いさまの白潟福祉のまちづくり』

●ねらい

白潟地区では2001年度（平成13年度）策定の第1次計画から4度にわたって計画を更新してきたが、活動計画での取り組み課題が多岐にわたっていたため、多くの課題を先送りにしてきた感は否めない状況であった。

- 「ふれあう、交流する」… 天神ふれあいプラザ（平成31年8月31日閉館）
白潟ボランティアの会、白潟婦人会
- ➔ しらかた しじみサロン（令和3年5月25日開始）
 - ➔ しらかた 子どもファーム（令和3年10月13日設立）
- 「見守り、支え合い」…… 松江市要配慮者支援推進事業（平成23年10月開始）
- ➔ 関係組織間での連携（情報交換）
- 災害時の支援体制（自主防災隊）
- ➔ 白潟防災会議（平成30年6月28日設立）
- 「組織の充実」…………… あんしんネット連絡協議会（平成29年3月31日廃止）
- ➔ 公民館運営協議会（専門部）等との連携

その反省に立ち、第5次計画は「シンプルで達成可能な目標設定」を基本的柱として策定した。

具体的には、地区内の全世帯を対象としたアンケートを実施し、これを基に策定したが、この計画を進めるに当たっては、町内会・自治会が核となり、地区内の各組織が連携を図りながら、安心して暮らせる町づくりにつながるよう、「お互いさまの白潟福祉のまちづくり」を設定し、次の3項目の活動により取り組むこととした。

【活動名①】声かけ、見守り活動 … 要支援者の現状把握と支援体制の強化

〔目標〕住民が孤立せずに、いつでも相談相手がいるという支援体制により、住み慣れた白潟地区でいつまでも安心・安全に暮らしていける町づくりをする。

【活動名②】交流の場づくり〔各町内会・自治会〕 … ふれあい活動の充実

〔目標〕「なごやか寄り合い」は、住民にとって一番身近な交流の場として定着しているが、更なる活動の活性化を図り、引きこもり防止を図る。

【活動名③】交流の場づくり〔白潟地区〕 … 公民館を拠点とした「おしゃべりの場」

〔目標〕白潟地区の拠点である公民館を開放し、住民が集ってくつろげる場を提供する。

【実施状況】

(1) 声かけ、見守り活動

日頃から、福祉推進員・民生児童委員および町内会・自治会役員などを中心として、「ながら見守り」も活用しながら、声掛け、見守り活動が推進されている。

また、白潟地区大での取り組みとしては、年4回（春・秋は、中央小学校児童のメッセージ同封。夏・冬は、三中生徒のメッセージ同封。）の友愛訪問の機会をとらまえて、声かけ、見守り活動を展開されたが、コロナ禍であったため、合わせて高齢者宅などへの「配食サービス」も採用しながら、活動の充実を図られた。

今後一層、平常時における声かけ、見守り活動を積極的に取り組むことにより、万が一の災害時における円滑な支援が図られるよう、更に幅広い白潟地区住民による支え合い活動が課題である。

(2) 交流の場づくり〔各町内会・自治会〕

なごやか寄り合い事業は、9箇所（16町内会・自治会）で実施されているが、住民にとって一番身近な「交流の場」として定着しており、大いに評価できる活動である。

コロナ禍となったものの、各地区とも会場や活動内容などを工夫しながら開催されたことは、地域住民にとっても大変有り難いことであった。

現時点でもコロナ禍は続いているため、なごやか寄り合い世話人の方などのご苦勞は大きいと思うが、地区内のなごやか寄り合い担当者（福祉推進員、民生児童委員など）が一堂に会して情報交換などの連携を図りながら、更なる活動の活発化を図っていただく事を期待する。

(3) 交流の場づくり〔白潟地区〕

①しらかた しじみサロン

令和2年3月16日にオープン予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため開催を延期し、改めて令和3年5月25日に3密防止や検温、手指消毒などの感染対策を講じながら、無理の無い範囲（飲食不可）で本サロンをオープンさせた。

本サロンの名称は、「しらかた しじみサロン」に決定した。

〔しゃべって じゃんじゃん みんなで楽しく〕

当初は、「にっこり文庫移動図書館」「しらかたのうたごえ」「福祉なんでも相談、健康チェック」で活動開始したが、その後、「ワンコイン野菜市」「白潟保育所〔踊り、歌〕」を追加し、更には、コーヒー・和菓子などによる「おもてなし喫茶」を採用するなど、活動の充実を図った。

コロナ禍のため活動に大きな制限がある中でも、色々と工夫して「交流の場づくり」を展開して来たことは、大いに評価できるものと思う。

白潟公民館は敷地狭隘のため3階建ではあるものの、広いスペースがない施設であるが、公民館施設を有効活用して、今後一層、色々と工夫を凝らして活動充実を図り、多くの地域住民が集ってくつろげる「おしゃべりの場」を提供するよう取り組むことが求められている。

②しらかた子どもファーム

白潟地区内には畑が殆どないため、中央小学校（２年生）との地域ふれあい活動として、プランターによるジャガイモづくりを行っている。

この様な中で、白潟地区の子どもたちと地域の方が一緒になって年間を通して「作物を育てる喜び」を感じるとともに、世代間を超えての「ふれあい」を深めることを目的とするふれあい活動として、「白潟地区 子育て支援活動 一緒に作ろう『畑』で作物プロジェクト」を、令和３年１０月１３日付けで開始した。

サツマイモ（春の植え付け、秋の収穫）と玉ねぎ（秋の植え付け、春の収穫）を中心として活動しているが、地域に開放しているエリアにおいては、四季を通して色々な作物づくりに取り組んでいる。

特に収穫に当たっては、白潟保育所や児童クラブおよび地域の子どもたちと一緒に活動を展開しているが、殆ど畑が無い白潟地区の子どもたちが、喜んで土に触れて活動していることは大きな成果である。

（４）松江市要配慮者支援推進事業

本事業は、全町内会・自治会において取り組む内容であるが、現時点においては、１６町内会・自治会の中で、３箇所（灘町、県営団地、横浜町）のみの活動となっている。

今後、改めて松江市からの説明機会を設けるなど、全町内会・自治会において展開できるよう、立ち上げ促進を図る取り組みが必要である。

４．白潟地区の現状と今後の課題

令和５年３月３１日現在、白潟地区の高齢化率は３７．４０％（松江市大は平均３０．３９％）であり、高齢者への取組みは重要な課題の一つである。

特に、全国大で自然災害が多発しているため、災害時における独居高齢者、障がい者等への支援体制を強化する必要がある。

また、人口減少・少子高齢化などにより、町内会・自治会および関係組織での役員後継者不足が著しいため、特定の方が多くの役職に就任している実態となっている。今後一層の人材育成を図り、出来るだけ「一人一役」を目指して役割分担するとともに、白潟地区全員の協力による「声かけ・見守り」等の支え合い活動が重要である。

このような現状を踏まえて、２０２４年度以降の白潟地区地域福祉活動計画を実施するに当たっては、各町内会・自治会および民生児童委員・福祉推進員等をはじめ、地区関係団体と更なる連携強化を図るとともに、白潟地区住民の一層の参画が得られるよう取り組んで行かなければならない。

5. 「地域の支えあい」アンケート実施結果 …… 【別冊2のとおり】

第6次白潟地区地域福祉活動計画を策定するに当たり、次の項目に対して白潟地区の住民がどのようなご意見をお持ちなのか調査するため、町内会・自治会に加入されている全世帯（1,086世帯）を対象として実施した。

- ① ご近所との付き合いやかかわり
- ② 地域活動への参加
- ③ 住みやすいまちづくり
- ④ 高齢者（満70歳以上）の方にお聞きします
- ⑤ 障がいのある方またはその家族の方にお聞きします
- ⑥ 小学生・中学生・高校生の方にお聞きします
- ⑦ 健康診断など
- ⑧ 健康づくり
- ⑨ 白潟地区あるいは各町内会・自治会内の全般について

アンケート結果において、次のような意見が多かった。

- 地域の皆さんが参加しやすい「交流の場づくり」「ふれあい行事」を増やしてほしい。
- 高齢者などは閉じこもりがちになるので、見守り・声掛け活動を強化してほしい。
- 災害時における支援体制を強化してほしい。
- 食材を買い物できる近場のお店が少ない。
- 空き家が多いが、屋根瓦落下、防火、防犯、雑草繁茂などから対策を要する。
- 高齢化などで、町内会運営などの担い手が不足している。人材育成が課題である。
- 子どもの遊び場が少ない。

6. 第6次〔2024年度～2028年度〕白潟地区地域福祉活動計画の方針

【計画概要】

〔福祉目標〕（仮称）白潟地区2,900人の声を拾って、
『お互いさまの白潟福祉のまちづくり』

●ねらい

白潟地区では2001年度（平成13年度）策定の第1次計画から5度にわたって計画を更新してきたが、人口減少・少子高齢化などの変化を踏まえて、既存組織間の連携強化や老若男女が、いつまでも安心・安全に住み続けられる、地域福祉づくりの充実を図るための活動計画を策定する。

第6次計画策定に当たっては、地区内の全世帯を対象とした「地域の支えあいアンケート」を実施し、これらも参考として展開するが、この計画を進めるに当たっては、町内会・自治会が核となり、地区内の各組織が連携を図りながら、安心して暮らせる町づくりにつながるよう、「お互いさまの白潟福祉のまちづくり」を念頭に置き、重点項目を設定して取り組むこととする。

【視点①】 **ふれあい** … **老若男女の出会い・語らいの場づくり**

〔目標〕 「なごやか寄り合い」「しらかた しじみサロン」「しらかた 子どもファーム」などの活動が定着してきているが、高齢者を中心とした交流の場づくり、および子育て支援活動の推進を図り、更なる活動の活性化を図る。

【視点②】 **見守り** … **住民主体による安心・安全な町づくり**

〔目標〕 「防災体制の強化」「町内会・自治会内での組織連携強化」を図り、住民が孤立せずに、いつでも相談相手がいるという支援体制づくりに努め、住み慣れた白潟地区でいつまでも安心・安全に暮らしていける町づくりを進める。

●主な活動内容

- 「ふれあい」 …………… ➡ なごやか寄り合い
- ➡ しらかた しじみサロン
- ➡ しらかた 子どもファーム
- ➡ 各団体との交流促進（白潟保育所，中央幼稚園，中央小学校，第三中学校，おむらいすの会，青少年支援センターなど）
- 「健康づくり」 …………… ➡ 健康まつえ21推進隊の活動充実
- 「見守り，支え合い」 …… ➡ 松江市要配慮者支援推進事業の取り組み推進
- ➡ 関係組織間での連携強化
- ➡ 防災体制の強化（白潟防災会議）
- 「伝える」 …………… ➡ 広報活動の充実

7. 第6次白潟地区地域福祉活動計画書〔2024年度～2028年度〕

………… 【別冊1のとおり】

9. 第5次白濁地区地域福祉活動の検討状況

実施年月日	内 容	備 考
R4年 9月 7日	第6次計画の策定イメージの説明	会長, 市社協, 事務局
R4年 9月27日	第6次計画の策定イメージの説明	三役, 常任理事, 市社協
R4年12月 6日	第6次計画の策定イメージの説明	理事会(全体会)
R5年 1月31日	第6次計画の策定方針(案)作成・協議	三役, 常任理事, 市社協
R5年 3月10日	第6次計画策定の進め方について協議	三役, 常任理事, 市社協
R5年 4月17日	第6次計画策定の進め方について協議	三役, 常任理事, 市社協
R5年 4月19日	第6次計画策定の進め方について協議	計画策定委員会(全体会)
R5年 4月27日	アンケート(案)作成	
R5年 5月12日	アンケート(案)説明・意見照会	計画策定委員
R5年 5月31日	アンケート(案)意見集約	
R5年 6月14日	アンケート内容決定	計画策定実行委員会
R5年 6月20日	アンケート製本	
R5年 6月25日	アンケート配布	計画策定委員
R5年 8月10日	アンケート回収締切り	
R5年 8月21日	アンケート集計方法について協議	計画策定実行委員会
R5年 8月30日	第5次計画の評価提出依頼	計画策定委員
R5年 9月30日	第5次計画の評価集約	計画策定委員
R5年10月21日	アンケート集計・評価	
R5年10月27日	アンケート集計の概要報告 第6次計画書(素案)概要	計画策定実行委員会
R5年11月 9日	第5次計画の評価 第6次計画(案)概要, アンケート集約結果 第6次計画書(素案)概要, 意見提出依頼	計画策定委員会(全体会)
R5年11月30日	第6次計画書(素案)意見集約	計画策定委員
R5年12月12日	第6次計画書(案)説明会	計画策定委員会(全体会)
R5年12月25日	第6次計画書(案)意見集約	計画策定委員
R6年 1月26日	第6次計画・別冊アンケート(確定案)策定	
R6年 2月 5日	第6次計画・別冊アンケート(確定案)協議	計画策定実行委員会
R6年 2月26日	第6次計画・別冊アンケート(確定案)協議	計画策定委員会(全体会)
R6年 3月10日	第6次計画(含むアンケート)印刷	
R6年 3月25日	第6次計画(含むアンケート)配布	
R6年 4月 1日	第6次計画のスタート	

「しらかた子どもファーム」



「しらかたしじみサロン」



第6次白潟地区地域福祉活動計画書

〔実施期間 2024年度～2028年度〕

【福祉目標】

白潟地区2,900人の声を拾って、
『お互いさまの白潟福祉のまちづくり』

2024年3月 策定

白潟地区社会福祉協議会

第6次白湊地区地域福祉活動計画書〔実施期間 2024年度～2028年度〕

【福祉目標】 白湊地区2,900人の声を拾って、『お互いさまの白湊福祉のまちづくり』

【重点項目 5項目】

視点	重点目標	行動目標	重点項目	活動内容	具体的実施内容	補足	実施状況				
							未達	←————→			達成
							1	2	3	4	5
ふれあい	老若男女の出会い・語らいの場づくり	高齢者を中心とした交流の場づくり	●	なごやか寄り合い	世話人研修会	・毎年開催し、情報交換する。					
					他地区の活動事例の紹介	・適宜、情報提供し、活動の活性化を図る。					
					活動費用の助成	・1団体に30,000円/年助成する。					
		子育て支援活動の推進	●	しらかたしじみサロン	おもてなし喫茶 ワンコイン野菜市 しらかたのうたごえ にっこり文庫の移動図書館 健康相談・なんでも相談	・白湊保育所や地域の方によるふれあい活動等、サロンに併せたイベント内容の充実を図る。					
来場者の増員活動	・福祉推進員が独居者宅などを訪問して、福祉推進員だより等をお渡ししながら、サロンへの参加を案内する。										
見守り	住民主体による安心・安全な町づくり	要支援者への支援体制の充実	●	防災体制の強化	白湊地区防災会議・災害対策本部会議 班長会議 防災訓練（避難・参集訓練，本部設営） マニュアルに基づく対応確認	・定期的な訓練・行事を実施する事により、白湊地区住民の防災意識の向上を図る。 ・災害時対応が円滑に遂行できるよう、白湊地区防災会議等が主催する訓練等で反復して研修する。					
					自主防災隊連合会との連携	・年間を通して実施される、効果的な防災活動を支援する。					
					PDCAサイクルの確実実施	・年度を通じて、活動を評価する事により、次年度の活動の充実を図る。					
			●	町内会・自治会内での組織連携強化	町内会・自治会，民生児童委員，福祉推進員との懇談会	・住民にとって一番身近な組織間で情報交換する事により、地域福祉の充実を図る。					
					避難行動要支援者の把握と支援体制の確立	・平常時から地域の要支援者状況を把握し、万が一の災害時での取り組みに活かす。					
					松江市要配慮者支援推進事業の取組み推進	・各町内会・自治会とも災害時対応に尽力しているが、更なる組織化を図り、活動強化を図る。					

第6次白潟地区地域福祉活動計画書〔実施期間 2024年度～2028年度〕

詳細項目

【福祉目標】 白潟地区2,900人の声を拾って、『お互いさまの白潟福祉のまちづくり』

視点	重点目標	行動目標	重点項目	活動内容	具体的実施内容	第5次計画期間中の活動を評価し更に充実したい内容			
ふれあい	老若男女の出会い・語らいの場づくり	高齢者を中心とした交流の場づくり	●	なごやか寄り合い	世話人研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに世話人会合を開催し、地区内および松江市大における活動を情報交換することにより、より活発な活動につなげる。 ・松江市社会福祉協議会（包括支援センターなど）と一層の連携を図り、なごやか寄り合い活動への支援を強化する。 			
					他地区の活動事例の紹介				
					活動費用の助成				
					白潟高齢者クラブ連合会		グラウンドゴルフ	<ul style="list-style-type: none"> ・白潟保育所の子どもたちとの交流を初め、世代間交流を深める。 	
					健康づくり等の出前講座の情報提供		出前講座一覧表の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い情報を提供する。 	
			●	しらかたしじみサロン	福祉推進員が独居者等に参加を促す	<ul style="list-style-type: none"> ・実効を深めているが、一層皆が参加しやすい内容を考慮する。 			
					サロンに併せたイベント開催	<ul style="list-style-type: none"> ・白潟保育所や地域の方によるふれあい活動を推進する。 			
					バス視察研修会		福祉推進員・なごやか世話人合同開催	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉関係施設などを視察し、地域活動に役立てる。 	
			子どもたちとの交流の場づくり				教育機関等との交流事業	児童・生徒等との交流推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関と連携を図り、年間を通しての交流活動を考慮する。
							同上	白潟保育所	「しらかたしじみサロン」「しらかた子どもファーム」での交流
		同上					中央幼稚園	作物づくりでの交流	<ul style="list-style-type: none"> ・交流頻度が少ないため、交流行事を推進する。
		同上					中央小学校	2年生とのふれあいジャガジャガ交流会 児童による敬老の日メッセージ作成	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあいジャガジャガ交流会」に、より多くの地域の方に参加していただくよう取り組む。
		同上					第三中学校	生徒による夏季および正月におけるメッセージ作成	<ul style="list-style-type: none"> ・学校までの距離的な問題もあり、地域の方が出向く交流頻度は少ないが、交流活動を考慮する。
							おだんごクラブ 乳幼児学級	子育て支援懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援組織間で情報交換し連携を図る。
		児童・生徒の地域行事への参画				白潟公民館行事（公民館まつり等） 白潟地区体育祭	地区内組織・公民館事業との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒が関わる行事を考慮する。 	
							子どもの居場所づくり	白潟公民館の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み期間中に公民館を開放しての居場所づくりを図る。
		ふれあい活動の推進				障がい児（者）の地域交流事業	あったかスクラム事業への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「おむらいすの会」等と年間を通して交流を深める。 	
							松江市青少年支援センター	ニュースポーツ等により交流	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通しての交流を考慮する。
							中央小学校児童クラブ	「しらかた子どもファーム」での交流	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通しての交流を考慮する。
							花づくり美化活動	プランター、花壇による緑化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域および公民館での緑化活動を支援する。
							子ども公民館	児童への支援活動	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館での活動を支援する。
							夕日と音楽を楽しむ会	2年毎の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ふれあい活動に協力する。

視点	重点目標	行動目標	重点項目	活動内容	具体的実施内容	第5次計画期間中の活動を評価し更に充実したい内容	
		子育て支援活動の推進	●	しらかた子どもファーム	白湯保育所, 児童クラブおよび地域の子もたちとの交流	<ul style="list-style-type: none"> 「サツマイモ, 玉ねぎ」以外の作物づくりを模索し, 活動の充実を図る。 地域ボランティアの増員を図り, 一層の交流活動を図る。 	
				フードバンクしまね	あったか元気便への支援活動	<ul style="list-style-type: none"> フードドライブ, パッキング作業等に, 一層の支援活動を図る。 	
				母子保健推進員, 民生児童委員, 主任児童委員, 福祉推進員等との情報交換会	子育て支援活動	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援組織間で情報交換し連携を図る。 	
健康づくり	地域住民の健康の維持・増進	高齢者を中心とした自主的な健康づくりの推進		健康まつえ21推進隊	推進隊会議	<ul style="list-style-type: none"> 推進隊隊員が減少気味であるため, 増員を図るとともに活動の充実を図る。 	
				同上 (運動部)	ウォーキングやグラウンドゴルフ, ポッチャ等のニュースポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 春と秋は屋外での運動, 夏と冬は屋内での運動など, 年間を通して活動を充実させる。 	
				同上 (けんしん部)	ポスター作成・掲示 広報車による検診受診の広報活動	<ul style="list-style-type: none"> 健診率が向上するよう, 引き続き健診PR活動等を実施する。 	
				同上 (健康講座部)	食生活改善(減塩等)の情報提供 健康講座	<ul style="list-style-type: none"> 健康まつえ21推進隊(運動部)との共催も含め, 健康づくり意識の醸成を図る。 	
				健康講演会・研修会	ゲートキーパー, 認知症サポーター 介護予防研修会, 生活習慣病	<ul style="list-style-type: none"> 「健康」意識を更に向上させるため, 幅広い講師により知識を深める。 	
				松江市保健師	しらかたしじみサロンでの健康相談	<ul style="list-style-type: none"> 健康講演会なども開催し, より身近な関係づくりを図る。 	
				松江市社協・中央地域包括支援センター	健康づくりの講話	<ul style="list-style-type: none"> 各地区のなごやか寄り合いに出掛けていただき, 健康づくり関係のお話しをしていただく。 	
				保健協力員	健康まつえ21推進隊との連携	<ul style="list-style-type: none"> 近年, 松江市による保健協力員の養成は実施されていないが, 保健協力員の情報交換を図る。 	
			公民館行事やサークル活動の紹介	健康スポレクサークル	多様なニュースポーツの体験	<ul style="list-style-type: none"> 地域の任意の方々を楽しまれているが, 更なる参加者の増員を図って活性化を図る。 	
				いきいきクッキング	公民館行事の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流活動に協力する。 	
見守り	住民主体による安心・安全な町づくり	要支援者への支援体制の充実	●	防災体制の強化	白湯地区防災会議・災害対策本部会議 班長会議 防災訓練(避難・参集訓練, 本部設営) マニュアルに基づく対応確認	<ul style="list-style-type: none"> 災害時対応が円滑に遂行できるよう, 白湯地区防災会議等が主催する訓練等で反復して研修する。 	
					自主防災隊連合会との連携		
					PDCAサイクルの確実実施		<ul style="list-style-type: none"> 都度の取り組みを評価し, 更なる改善につなげる。
			●	町内会・自治会内での組織連携強化	町内会・自治会, 民生児童委員, 福祉推進員との懇談会	<ul style="list-style-type: none"> 住民にとって一番の身近な組織であるため, 日頃から情報交換しながら連携を図る。 	
					避難行動要支援者の把握と支援体制の確立		<ul style="list-style-type: none"> 各町内会・自治会で対象者を把握し, 松江市での取り組みを活用推進する。 要配慮者支援推進事業について, 町内会長・自治会長が集まる場において説明会を設ける。
					松江市要配慮者支援推進事業の取組み推進		
		民生児童委員	民生児童委員・福祉推進員の合同研修会	<ul style="list-style-type: none"> 福祉推進員と民生児童委員との連携強化を図る。 			
		福祉推進員	なごやか寄り合い案内文の配布・声掛け 福祉推進員たよりの配布・声掛け 福祉推進での定例情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> 福祉推進員の成り手不足が懸念されるため, 各町内会・自治会での先を見据えた人材育成に協力する。 			

視点	重点目標	行動目標	重点項目	活動内容	具体的実施内容	第5次計画期間中の活動を評価し更に充実したい内容
				友愛訪問〔一人住まいの高齢者宅〕	春秋（中央小学校児童メッセージ同封） 夏冬（第三中学校生徒メッセージ同封）	<ul style="list-style-type: none"> 持参する「福祉推進員だより」を充実させる。 民生児童委員および関係機関（駅前交番，南消防署，松江市社協）と同行して訪問する。
				松江市社協・中央地域包括支援センター	懇談会・研修会	<ul style="list-style-type: none"> 福祉推進員等の会合に出席して情報交換する。 認知症に関する啓発 地域での見守り体制づくりの研修
				山陰中央新報販売所団体	「新聞配達員による見守り活動」の連携	<ul style="list-style-type: none"> 新聞配達員による配達時の異変通報に伴う，地域における迅速な安否確認。 販売所，地区民児協，公民館，地区社協，および福祉推進員との連携強化
				地域住民による「ながら見守り」の推進	情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> 一人住まいの高齢者などが増加しているため，「ながら見守り」等で実効を高める。
				地域安全推進委員会，青色パトロール隊	「防犯」見守り組織と「福祉」見守り組織との情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> 特殊詐欺被害や声掛け事案が多いため，連携して高齢者や児童・生徒等への支援活動を行う。
				中央小学校スマイルデー	毎月第一登校日の「あいさつ運動」	<ul style="list-style-type: none"> 地域見守りボランティアの増員を図る。
				登下校見守りボランティア	自宅界隈での見守り活動	
					危険個所の点検・改善	通学路安全マップの点検
伝える	健康・福祉活動をお知らせし，地域活動への関心を高める	広報活動		地区内の福祉施設との情報交換	定期的な懇談会	<ul style="list-style-type: none"> 松江センターアゼリア，敬愛苑等と連携し，災害時の住民避難対応も考慮する。
				広報資料の作成・配布	困りごとの連絡先一覧表の整備	<ul style="list-style-type: none"> 福祉関係での問合せ先が分かりにくいとの声があるため，取り組みの充実に努める。
					白湯福祉だより（年3回） 福祉推進員だより（友愛訪問時）	<ul style="list-style-type: none"> 内容充実を図る。
					白湯防犯だより「絆」	<ul style="list-style-type: none"> 地区内関係組織が発行する広報資料を活用する。
		白湯公民館だより，白湯公民館HP	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉情報を掲載する等，活動の充実を図る。 			
進捗管理	PDCAサイクルを回して活動の充実を図る	第6次計画の定期的な振り返り		毎年の進捗管理を実施	常任理事会や理事会における意見交換	<ul style="list-style-type: none"> 各年度でのPDCAを回すことにより，より実効ある活動を展開する。

『第6次白潟地区地域福祉活動計画』策定資料

「地域の支えあい」アンケート集計表

このアンケート調査は、白潟地区社会福祉協議会が中心となって取り組んでいます。「第6次白潟地区地域福祉活動計画」の策定にあたり、皆様にとりまして「住みよいまちづくり」とはどのようなものかを、この活動計画に反映するために実施させていただきましたものです。

このアンケートによって得られました結果は、「白潟地区地域福祉活動計画」策定および白潟地区「住みよいまちづくり」活動に使用します。

それ以外の目的には使用いたしません。

また、このアンケート調査は「無記名」としてはいますが、個人のプライバシー保護に万全を期しておりますので、趣旨をご理解のうえ、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

2024年3月 策定

白潟地区社会福祉協議会

- 問1 あなたの住んでいる地域は、どちらですか。
- 問2 あなたの性別は、どちらですか。
- 問3 あなたの年齢をご記入ください。満（ ）歳
- 問4 あなたの家族構成を教えてください。
- 問5 現在のあなたの職業はどれに当たりますか。
- 問6 あなたは、ご近所の方とどの程度の付き合いをしていますか。
- 問7 あなたは、ご近所とのかかわりを深めたいと思いますか。
- 問8 あなたが困っているときに、ご近所の方に「お願いしたい」と思ったことがありますか。
- 問9 あなたは、ご近所で高齢者や子供、障がいのある人、子育て等で手助けが必要な人がいたらどうしますか。
- 問10 あなたが参加・活動しているもの（地域活動）は何ですか。
- 問11 あなたは、毎日の暮らしの中で、どのようなことに不安を感じますか。
- 問12 あなたは、生活をするうえで、不便なこと、困っていることはありますか。
- 問13 あなたは、困ったとき、だれに相談したいですか。
- 問14 あなたは、問12の困りごとについて、地域に有償ボランティア〔金額は出来るだけ安価とする。〕があれば利用したいと思いますか。
- 問15 あなたは、今後、話し相手を見つけたり、仲間づくりのために利用したい交流の場はどれですか。
- 問16 住みやすいまちづくりについて、私たちが取り組むべきことは何だと思いますか。
- 問17 あなたは、上記の「住みやすいまちづくり」活動等に参加（出席・活動協力）しようと思いますか。
- 問18 問17で「参加したくない。参加できない。」と回答された方は、その理由を記載してください。

高齢者（満70歳以上）の方にお聞きします

- 問19 あなたは、「住みやすいまちづくり」のために、地域〔白湯地区あるいは各町内会・自治会〕に対してどの様なことを望まれますか。

障がいのある方またはその家族の方にお聞きします

- 問20 あなたは、「住みやすいまちづくり」のために、地域〔白湯地区あるいは各町内会・自治会〕に対してどの様なことを望まれますか。

小学生・中学生・高校生の方にお聞きします

- 問21 学校が終わった後は、どこで過ごすことが多いですか？
- 問22 土曜日や日曜日など学校が休みの日には、だれと過ごすことが多いですか？
- 問23 晩ごはんは、だれと一緒に食べますか？
- 問24 白湯公民館に行ったことがありますか？
- 問25 あなたが参加したくなるような公民館活動や地域活動は、どの様な内容ですか？
- 問26 あなたが住んでいて「いいね。」と思う町はどのような町ですか？
- 問27 「住みよいまちづくり」のために、あなたの意見を聞かせていただく機会があれば、協力していただけますか？
- 問28 問27で「協力しない、協力出来ない」と回答された方は、その理由を記載してください。
- 問29 あなたが住んでいる所（町）に対して、ご意見などがあれば、ご自由にお書きください。

健康診断等、健康づくりについて

- 問30 あなたの家族で、35歳以上の方は健康診断・がん検診を受けていますか。
- 問31 問30で「受けていない」方がいると回答された方は、その理由は何ですか。
- 問32 健康診断に関する情報はどこから得られましたか。
- 問33 あなたは、健康づくりとして、今後どのような取り組みが良いと思われますか。

白湯地区内あるいは各町内会・自治会内の全般について

- 問34 お住まいの地域に対する良い点、悪い点および地域住民が取り組むべき課題・問題点や要望など、ご自由にお書きください。

あなた自身のことについてお尋ねします

問1 あなたの住んでいる地域は、どちらですか。(1つに○を。) [回答数 計348人]

- | | | |
|--------------|--------------|----------------|
| 1. 和多見町〔26人〕 | 7. 南寺町〔9人〕 | 13. 袖師・嫁島〔9人〕 |
| 2. 白潟本町〔6人〕 | 8. 万代町〔4人〕 | 14. 幸北〔4人〕 |
| 3. 魚町〔14人〕 | 9. 昭和町〔20人〕 | 15. 県営1号棟〔12人〕 |
| 4. 灘町〔47人〕 | 10. 人参方〔10人〕 | 16. 県営2号棟〔22人〕 |
| 5. 天神町〔13人〕 | 11. 幸町〔66人〕 | |
| 6. 北寺町〔37人〕 | 12. 横浜町〔49人〕 | |

問2 あなたの性別は、どちらですか。(1つに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. 男性	139	39.9%	40.9%
2. 女性	191	54.9%	55.9%
3. 回答しない	9	2.6%	
〔無回答〕	9	2.6%	3.2%
計	348	100.0%	100.0%

問3 あなたの年齢をご記入ください。 満()歳

	回答数	構成比	前回構成比
1. 19歳以下(～19歳)	0	0.0%	0.0%
2. 20歳代(20歳～29歳)	0	0.0%	0.3%
3. 30歳代(30歳～39歳)	9	2.6%	2.9%
4. 40歳代(40歳～49歳)	27	7.7%	7.7%
5. 50歳代(50歳～59歳)	44	12.6%	12.1%
6. 60歳代(60歳～69歳)	75	21.5%	21.2%
7. 70歳代(70歳～79歳)	87	25.0%	29.1%
8. 80歳代(80歳～89歳)	77	22.1%	19.7%
9. 90歳以上(90歳～)	11	3.2%	2.4%
〔無回答〕	18	5.2%	4.6%
計	348	100.0%	100.0%

問4 あなたの家族構成を教えてください。(あてはまるもの全てに○を。)

	一世代	二世代	三世代	回答数計	構成比	前回 構成比
	回答数	回答数	回答数			
1. 配偶者（妻・夫）	74	81	16	171	34.8	38.4%
2. 子供		105	27	132	26.9	27.2%
3. 孫		6	14	20	4.0	3.5%
4. 父親		7	3	10	2.0	2.2%
5. 母親		23	16	39	8.0	7.5%
6. 祖父		2	1	3	0.6	0.2%
7. 祖母		1	1	2	0.4	0.4%
8. 兄弟姉妹		6		6	1.2	1.3%
9. 独身	66	4		70	14.3	13.7%
10. 単身赴任	1			1	0.2	0.1%
11. その他	18		1	19	3.9	0.4%
〔無回答〕	18			18	3.7	5.1%

問5 現在のあなたの職業はどれに当たりますか。（あてはまるもの全てに○を。）

	回答数	構成比	前回構成比
1. 学生	0	0.0%	0.2%
2. 会社員	72	20.5%	16.4%
3. 自営業	35	10.0%	16.9%
4. 主婦	37	10.5%	12.0%
5. 公務員	12	3.4%	1.7%
6. 農業	0	0.0%	0.0%
7. 漁業	1	0.3%	0.2%
8. アルバイト	13	3.7%	5.1%
9. 無職	139	39.6%	35.7%
10. その他	28	8.0%	7.0%
・パート, 寺院, 医療職, NPO 法人役員 など			
〔多岐に渡るため, 一部割愛させていただきました。〕			
〔無回答〕	14	4.0%	4.8%
計	351	100.0%	100.0%

ご近所との付き合いやかかわりについて

問6 あなたは、ご近所の方とどの程度の付き合いをしていますか。(1つに○を。)

付き合いが	回答数	構成比	前回構成比
深い			
1. 何か困ったときに助け合えるような 親しい人がいる	59	17.0%	23.4%
2. お互いに訪問しあう人がいる	33	9.5%	14.0%
3. 立ち話のできる人がいる	141	40.5%	36.1%
4. あいさつを交わす程度の人がいる	79	22.7%	17.5%
5. ほとんど付き合いがない	13	3.7%	3.4%
浅い			
6. 近所にどんな人が住んでいるかわからない	1	0.3%	0.5%
7. その他	0	0.0%	0.3%
〔無回答〕	22	6.3%	4.8%
計	348	100.0%	100.0%

問7 あなたは、ご近所とのかかわりを深めたいと思いますか。(1つに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. もっと親しくなりたい	38	10.9%	11.6%
2. 今のままでよい	282	81.0%	81.5%
3. あまり、かかわりたくない	17	4.9%	3.1%
4. その他	4	1.2%	0.5%
・必要性を説得したい			
・バランスと距離感をもって付き合いたい。			
〔無回答〕	7	2.0%	3.3%
計	348	100.0%	100.0%

問8 あなたが困っているときに、ご近所の方に「お願いしたい」と思ったことがありますか。(1つに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. ある	128	36.8%	37.2%
2. ない	209	60.0%	58.5%
〔無回答〕	11	3.2%	4.3%
計	348	100.0%	100.0%
実際にお願いしましたか。			
1. お願いした	101	78.9%	74.8%
2. お願いしなかった	23	18.0%	22.0%
〔無回答〕	4	3.1%	3.2%
計	128	100.0%	100.0%

問9 あなたは、ご近所で高齢者や子供、障がいのある人、子育て等で手助けが必要な人がいたらどうしますか。(あてはまるもの全てに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. 自分でできることを探して手助けする	91	16.9%	18.2%
2. 近所の人と一緒にになって手助けする	119	22.1%	23.3%
3. 行政機関等から協力を頼まれれば手助けする	66	12.2%	11.2%
4. 本人から手助けを求められれば手助けする	167	31.0%	32.4%
5. 手助けしたいがなかなかできない	70	13.0%	9.0%
6. 関わりたくないなので、手助けしない	3	0.6%	1.2%
7. 他人が手を出す必要はない	4	0.7%	1.0%
8. その他	7	1.3%	1.5%
・出来る事と出来ない事もあるので、 依頼内容によってはお受け出来ない。			
〔無回答〕	12	2.2%	2.2%
計	539	100.0%	100.0%

地域活動への参加について

問10 あなたが参加・活動しているものは何ですか。(あてはまるもの全てに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. 町内会活動	144	24.6%	26.6%
2. なごやか寄り合い	90	15.4%	14.0%
3. 高齢者クラブ	16	2.7%	3.9%
4. スポーツ活動	29	5.0%	4.7%
5. 福祉活動	27	4.6%	3.4%
6. 環境美化活動	53	9.0%	7.5%
7. 交通安全活動	12	2.0%	2.2%
8. 防犯活動(見守り活動)	18	3.1%	2.4%
9. 防災活動	20	3.4%	5.2%
10. 公民館活動	37	6.3%	8.9%
11. その他	10	1.7%	2.4%
・クリーンまつえ			
・地域の掃除, 趣味			
・自営なのでお店で出来ることをしている。			
12. 特に参加・活動していない	113	19.3%	17.3%
〔無回答〕	17	2.9%	1.5%
計	586	100.0%	100.0%

住みやすいまちづくりについて

問1 1 あなたは、毎日の暮らしの中で、どのようなことに不安を感じますか。
(あてはまるもの全てに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. 自分の健康に関すること	218	28.5%	26.7%
2. 介護に関すること	98	12.8%	14.7%
3. 仕事に関すること	51	6.7%	6.7%
4. 人間関係に関すること	28	3.7%	3.7%
5. 将来のこと	100	13.1%	13.2%
6. 住まいに関すること	68	8.9%	8.4%
7. 親や子供に関すること	69	9.0%	7.6%
8. 災害に関すること	103	13.4%	15.7%
9. その他	11	1.4%	1.5%
・飲み屋があり、非常にガラが悪く、またガラの悪い人間が頻繁に行き来する。			
・心配と言えばどれも気にかかるが、自分で出来ることで努力している。			
・現在、まだ元気に生活できるので、将来介護のついて考えたくない、考えてない。			
・地が低い。			
・生活に関する事。			
・物価、金、マイナンバーカード利用。			
・独居老人のため何でも。			
・窃盗・詐欺など防犯に関すること。			
〔無回答〕	19	2.5%	1.8%
計	765	100.0%	100.0%

問1 2 あなたは、生活をするうえで、不便なこと、困っていることはありますか。
(あてはまるもの全てに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. 買物	51	8.1%	8.1%
2. 炊事・食事	11	1.8%	2.1%
3. 洗濯	1	0.2%	0.4%
4. 掃除	23	3.7%	2.5%
5. 通院	11	1.8%	1.4%
6. ゴミだし	9	1.4%	2.3%
7. 草取り	61	9.7%	5.2%
8. 庭木の剪定	33	5.2%	3.4%
9. 除雪	46	7.3%	8.5%

10. 入浴	5	0.8%	0.9%
11. 歩行	15	2.4%	3.3%
12. 外出	16	2.6%	2.2%
13. 介護	16	2.6%	2.5%
14. 物忘れ	20	3.2%	2.5%
15. 話し相手	6	1.0%	0.7%
16. 子育て	5	0.8%	0.7%
17. 趣味	4	0.6%	0.5%
18. 小修繕	31	4.9%	5.5%
19. 電球交換	13	2.1%	1.7%
20. 健康づくり	17	2.7%	2.5%
21. 寂しさ・不安	9	1.4%	1.1%
22. 郵便物の処理	1	0.2%	0.6%
23. 不審な電話	25	4.0%	3.9%
24. 訪問販売	6	1.0%	1.1%
25. 近所付き合い	11	1.8%	1.5%
26. 災害時の支援	23	3.7%	4.8%
27. 相談先が分からない	4	0.6%	1.7%
28. 暮らしに必要な情報に入%手	8	1.3%	
29. その他	10	1.6%	1.3%
<ul style="list-style-type: none"> ・タバコのポイすて、私道にゴミをポイすて、酔っ払いの嘔吐。 ・平屋など出入りしやすい家（1階建て）。介護状態になった時、介護する側も出入りしやすい。 ・月1回の通行止め、車が使えない（25日） ・給与が少ない。教育費が高い。 ・除草作業などは家周りをきれいにしたいのでやっているが、困っているという程ではない。除雪作業の方がやっかい（冬季のみ）。除雪はするが雪をためる場所がない。 ・免許返納による雨降りの買い物 ・ペット（犬）散歩時のマナーが悪い方がおられ困っている。フンの持ち帰り用のバッグも持たず、そのままにして行かれる。町内会だより等で呼びかけて頂けたらありがたい。 ・物価高騰で貯金ができない、 			
30. 特にない	124	19.4%	20.9%
<ul style="list-style-type: none"> ・外出はほとんど三輪車である。月に1度4人でカラオケに行く。 ・家族の誰かが来てやってくれるから。 ・子供・孫との生活のため、不便・寂しさ感じない。自分が今のところ健康なので思うような活動も出来るし不便感じない。 			
〔無回答〕	13	2.1%	6.2%
計	628	100.0%	100.0%

問13 あなたは、困ったとき、だれに相談したいですか。(あてはまるもの全てに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. 家族	262	33.4%	34.7%
2. 親戚	107	13.7%	14.8%
3. 近所の人	58	7.4%	8.6%
4. 友人・知人	160	20.4%	18.7%
5. 町内会長・自治会長	19	2.4%	3.3%
6. 民生児童委員	6	0.8%	1.9%
7. 福祉推進員	10	1.3%	1.4%
8. 医師	56	7.1%	5.2%
9. 保健師	7	0.9%	0.1%
10. 社会福祉協議会	8	1.0%	1.1%
11. 地域包括支援センター	22	2.8%	2.8%
12. ホームヘルパー	7	0.9%	0.5%
13. ケアマネージャー	38	4.9%	2.7%
14. 相談できる人がいない	6	0.8%	1.1%
15. その他	9	1.1%	1.1%
・行政　・職場　・同僚			
・相談する程困った事は今の所ないが、物事によって相談する相手が違うのではないか。			
・雨がたくさん降った時、溝の雨水があっという間に増えて、上に上がってきて、いつも怖いと思い、落ち着かなくなる。河川課の人に電話しないと溝の掃除もしてくれないし、見に来てくれないのが大変。毎年のことなので電話なしで溝の草と掃除をして欲しい。			
〔無回答〕	9	1.1%	2.0%
計	784	100.0%	100.0%

問14 あなたは、問12の困りごとについて、地域に有償ボランティア〔金額は出来るだけ安価とする。〕があれば利用したいと思いますか。(1つに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. 利用したい(問12の困りごと番号)	77	22.1%	21.2%
【内訳】 1. 買物	17	12.3%	4.9%
2. 炊事・食事	3	2.2%	3.1%
3. 洗濯	1	0.7%	0.9%
4. 掃除	7	5.1%	4.0%
5. 通院	2	1.5%	2.7%
6. ゴミだし	4	2.9%	1.4%
7. 草取り	20	14.5%	8.5%
8. 庭木の剪定	20	14.5%	9.9%
9. 除雪	12	8.7%	15.3%

10. 入浴	1	0.7%	1.8%
11. 歩行	1	0.7%	1.8%
12. 外出	3	2.2%	1.4%
13. 介護	9	6.5%	1.8%
14. 物忘れ	3	2.2%	0.9%
15. 話し相手	1	0.7%	0.4%
16. 子育て	1	0.7%	1.8%
17. 趣味	1	0.7%	0.4%
18. 小修繕	12	8.7%	15.3%
19. 電球交換	3	2.2%	2.7%
20. 健康づくり	1	0.7%	2.7%
21. 寂しさ・不安	1	0.7%	2.2%
22. 郵便物の処理	0	0.0%	0.0%
23. 不審な電話	1	0.7%	0.9%
24. 訪問販売	0	0.0%	0.4%
25. 近所付き合い	0	0.0%	0.9%
26. 災害時の支援	5	3.6%	7.6%
27. 相談先が分からない	1	0.7%	0.9%
28. 暮らしに必要な情報に入手	2	1.5%	%
29. その他	6	4.4%	2.7%
・時と場合による			
30. 特にない	0	0.0%	%
〔無回答〕	0	0.0%	2.7%
計	138	100.0%	100.0%
2. 家族に依頼するので必要ない	136	39.1%	34.7%
3. 近所に依頼するので必要ない	3	0.9%	0.9%
4. その他	38	10.9%	7.3%
・経験がないので実感が湧かない。			
・考えていない			
・依頼できる内容ではないので			
・今までのところその必要がない			
・現在は自分でできるので必要ない			
・今のところ不便さはない			
・よく分からない			
・我慢する			
・今のところはないが、そのうちに助けて頂けたらありがたい			
・その時に判断			
・有償ならいい			
・自分で何とかする			
・相談できる医師がいるので必要ない			
・今は生協に注文している			
・今のところ妻がします			
・親戚に			
・行政に			
・行政機関の動きが悪い			
・地主が行うか町内会で行う。			
・窓口になる機関を知らせて欲しい			
・近所にスーパーマーケットが欲しい。			
〔無回答〕	94	27.0%	35.9%
計	348	100.0%	100.0%

問15 あなたは、今後、話し相手を見つけたり、仲間づくりのために利用したい交流の場はどれですか。(あてはまるもの全てに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. なごやか寄り合い	88	18.3%	17.3%
2. 町内会の行事	112	23.3%	20.8%
3. 介護予防・健康教室	31	6.4%	9.3%
4. 介護施設など	13	2.7%	3.5%
5. 公民館のサークル	47	9.8%	9.7%
6. その他	18	3.7%	5.0%
・スポーツ仲間と時々交流している。			
・職場、トレーニングジム			
・友人、知人との集まり、会合等			
・趣味のサークル ・同じ趣味の人 ・習い事教室など			
・趣味の交流があれば ・白湯外の趣味の集い、にっこり文庫			
・考えたいが今は考えていない			
・お寺 ・市全体での中学校同窓会。			
7. 特になし	148	30.8%	28.1%
〔無回答〕	24	5.0%	6.3%
計	481	100.0%	100.0%

問16 住みやすいまちづくりについて、私たちが取り組むべきことは何だと思いますか。(あてはまるもの全てに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. 高齢者・障がいのある人等の 訪問・見守り活動(安否確認)	153	15.8%	14.9%
2. 住民間の交流を目的とした行事、居場所づくり	103	10.6%	10.6%
3. 健康づくり活動(講演会、健康診断、体力づくり)	73	7.5%	9.0%
4. 福祉についての講演・学習会	37	3.8%	2.9%
5. 福祉に関する情報発信(福祉だより等)	41	4.2%	4.6%
6. 防災活動(平常時・災害時)	99	10.2%	10.5%
7. 防犯活動(パトロール等)	76	7.8%	7.0%
8. 交通安全活動(交通安全教室等)	24	2.4%	2.4%
9. 住民同士のマナーの向上	73	7.5%	5.9%
10. 地域活動に携わる人の育成	55	5.7%	4.7%
11. 環境美化活動	58	6.0%	5.4%
12. 地域内の関係団体間での連携強化	23	2.3%	2.4%
13. 住民有志による困り事の助け合い	49	5.1%	5.6%
14. 困り事相談窓口の設置	54	5.6%	5.9%

15. その他	7	0.7%	0.7%
・住民同士の日頃からのお付き合い。			
・皆が健康で文化的な生活が出来るよう、国に強く働きかけること、公助を強化する。			
・自分が年を取っているので、出来る年はやりたいが、思うように早く出来ない。			
・●●町は振興会でめだか池があり、住民は本当に力を合わせております。			
・IT教育、スマホ、チャットGPT			
・長期ビジョンに立った、県や市によるプラント実行			
16. 特にない	26	2.7%	4.0%
〔無回答〕	20	2.1%	3.5%
計	971	100.0%	100.0%

問17 あなたは、上記の「住みやすいまちづくり」活動等に参加（出席・活動協力）しようと思いませんか。（1つに○を。）

	回答数	構成比	前回構成比
1. 積極的に参加（出席・活動協力）したい	21	6.0%	6.1%
2. 取組み内容によって参加（出席・活動協力）したい	238	68.4%	70.8%
3. 参加したくない。参加できない。	68	19.6%	13.2%
〔無回答〕	21	6.0%	9.9%
計	348	100.0%	100.0%

問18 問17で「参加したくない。参加できない。」と回答された方は、その理由を記載してください。

(1) 勤務などの仕事関係〔同様の理由が多数あり〕

・休日、夜間を含め仕事が多い ・時間的な余裕がない ・自分の生活が忙しい

(2) 介護などの家族関係〔同様の理由が多数あり〕

・親の介護がある ・子どもに障がいがある ・自分の子供の事だけで精一杯

(3) 高齢などの自身関係〔同様の理由が多数あり〕

・身体の具合が悪い ・体力がない ・高齢者 ・病気治療中

・目が不自由 ・歩行が不自由 ・ひざが悪く長時間の歩行が困難

・会場にもよる ・参加したいけど障がい者でもあるので出来ない

・自分のことで手いっぱい。他の人への活動に参加する力がない。(気持ちはある)

(4) 付き合いなど人間関係

・協力活動したいが、自分さえ良ければという人間が非常に多く、積極的に参加したいとは思わない。

・したくないから ・面倒 ・人付き合いが苦手

・友達も知り合いもないので参加しにくいので参加したくない

・仕事、二重生活、時間、性格交流体力

問19 あなたは、「住みやすいまちづくり」のために、地域〔白湯地区あるいは各町内会・自治会〕に対してどのようなことを望まれますか。（ご自由に記入下さい。）

（1）交流の場、ふれあい行事

- ・公民館活動を多くの人に広める。
- ・お互いに親しくなるため、なるべく多く顔を合わせる機会を多くすること。
- ・参加したくなる交流会の開催。
- ・皆さん会っておしゃべりする事を楽しんでおられる。お世話される人は大変ですね。70歳以上だけの人々はお茶を飲んだりして集合して世間話をしたらどうか。
- ・自分の地元だけでなく、隣接地区の皆様と時々話し合える会議
- ・憩いの場所
- ・コミュニケーションの場、時間を持ちたいと思う。今は住民が少なくなっているから。
- ・公民館にも出掛けなければと思っているが、今は体調が悪いので申し訳なく思っている。
- ・公民館をはじめ、町内会でも色々と話し合いも行われ、役員の方々、福祉ボランティアの方々も活動しておられるので感謝している。高齢者も家にこもらないで、近所の親しい方々と声を掛け合ってなるべく参加したいと考えている。

（2）見守り、声掛け

- ・独居の人への声掛け。
- ・各家庭色々な事情を抱えていると思う。助け合いは非常にいいことだが、プライバシーに配慮することが重要だと思う。
- ・アンケートにある話をする相手も無いに等しい。
- ・連絡事で車で回っておられるが、動いているので何を言っておられるのか解りにくく、聞き取りにくいので、止まってアナウンスしてもらいたい。
- ・今年、●が亡くなり相続に集中しているが、全く手続きがわからず困っている。公民館等で弁護士さんの話は聞いたが、実際自分のことになると、うまく進まず夜も寝られない。個別指導の充実をお願いしたい。
- ・これから益々増えるであろう独居高齢者が安心して住める対策や手助けが欲しい。
対策①、各々地区で独居老人がどれだけいるか、常に状況を把握し、例えば孤独死の発見が遅くならないよう、時々様子を見に訪問、見守りが出来るシステムを作る。
対策②、高齢者が生活する上での、ちょっとした困り事を気軽に頼める場所や人の確保。
例えば電球交換、ちょっとした家の直し、粗大ごみの運搬、草取りなどなど。
（ボランティアが無理なら格安費用で）
対策③、引きこもりがちの高齢者が気軽に集まって楽しめる寄り合い場所がもっと欲しい。
例えば、カフェ風の毎日開放されている場所を作る（営利目的でない）

(3) 交通, 防災, 防犯, 土木

- ・防犯活動
- ・災害があった場合、どこに逃げれば良いのか心配。学校や集会所が近くにないので、しっかりした大きな建物があれば良いのだが。
- ・大雨の時、雨水が道路に流れ出る。行政機関の手助けが必要では。
- ・防災、防犯、娯楽の催し物、催事事の報知をもっと徹底的に。

(4) 町づくり, お店, 買い物, 空き家

- ・一畑百貨店も無くなり、ますます買物が不便になる。移動スーパーでも、週2回位廻って頂くと有難いが。
- ・近場での食料品ほか日常消耗品などの小売店の確保。このお願いは地区町内会では無理かもしれないが、天神町、白潟本町、灘町、寺町、大橋界限、和多見、本町通り、東本町、駅通り、宍道湖の方、横浜町のまわり、この広い所にスーパーが豎町に一軒、津田街道にみしまやさんがあり、私は三輪車で行くが、一人の人はどうして、どこに買い物など行かれるのかと思う。スーパーは駐車場の広い所があるし、松江には土地が無いので無理だろうが、小さなスーパーが一軒ぐらいあるといいと思う。
- ・地区に商店がない。歩行力が弱まって来ると移動が簡易にできると有り難い。車による「代行システム」が設けられたら利用したい。
- ・地区内に（近くに）軽食や買い物などの店があると良い。コンビニ等であれば最高だ。
- ・近くに買物をする所が全然なく、9号線を超えてホックまで行かないといけなくなり、信号機も長くて大変だ。今まであったチラシもなくなり、何の売り出しかも分からなくなって買い物も行かれないくらいだ。近くにコンビニでも良いができれば助かる。
- ・店は町内にあっても、住居は別の人が多い。
- ・買い物市場の存続。
- ・高齢者ができるような奉仕活動をする（ある程度の組織化）
- ・安心して暮らせるまちづくり
- ・宍道湖も近いし、大変良い環境で毎日ゆっくりと暮らしている。
- ・土曜夜市が今年復活したが、にぎやかで良かったと思う。
- ・近所に空き家状態の物件があり、草木が倒れて来たり落ち葉や草や虫に困っている。市にも相談したが対応がなく、何とかしてほしいと思っている。
- ・住民が高齢化し、所々空き家が目立つ。美観上、防犯上などの問題から何か打つ手はないものか。外部からの希望者

(5) 少子高齢化, 町内会運営, 人材, 人間関係

- ・当地域では若い人（20, 30, 40代）が居ないので、他の地域も似たりよったりだと思う。このような状態をどうするか、働き手が少ないということ。何を望みましょう。
- ・仕事の関係で出入りが多く、無理という方もあるかとは思いますが、町内会に入られない方がそれほど悩みもしないで、「入りません。」と言われたのにはびっくりした。いろいろ考えはあろうが、最初からこれでは、町内も変わっていくのではないかと案じられる。
- ・町内に住もうとする人がいない。一昔前と違い、町内から出て行く。
- ・人はあっても、長く住む人がいない。

- ・何年も前から（小学～高校生）が一人もいない。
- ・人口減少がどうにもならない。
- ・地域活動の役員の年齢をもっと若く。
- ・一人の年寄りに役が集中しているところがある。
- ・役付者の若年化。
- ・特に若い人の活用を積極的に勧めることは～？
- ・高齢者が多くなり、溝掃除をしない（出来ない）家が多くなり、1軒だけ溝掃除をしても、下流側等全くしていないので。
- ・人口減少、少子化が止まっていないことが最大の不安。子どもたちが成人すると、みな都会へ出てしまい過疎化が進む。自分の生まれた土地で生活できないためと思う。郷土を愛していても、生活できなくて、そのために郷土を離れなくてはならないのは悲しいことだ。折角、歴史と自然に恵まれていながら、経済的に多少恵まれてなくても、生まれ育った地を世代を通してともに保守していける街にしていけたらと思う。
- ・町内会があるので、町内会の役員が中心となり、組長を含め各組毎にまず話し合いの場をもうけて各自の要望を聞き、それを中心に役員会で話し合い、町内会員の相談に乗るようなことは出来ないだろうか。町内会員の負担になることは出来ないが、何か事を進めるには、まずは話し合いからではないだろうか。各組員が組の中で話し合いをやる事から始めればと思うがどうか。皆様の負担になると思うが、まずは話し合いから進めてほしい。
- ・●●民生委員はとても好感が持て頼りになる。すばらしい。町内会役員は何もせず、役員報酬をもらうだけのつまらない人々。町内会長も●●さんになってもらいたい。
- ・若い人の参加。
- ・お役の方々は、あの手この手と頑張っている。これ以上は個々で考えて行動したら良いと思う。
- ・以前より町内との交流がない。
- ・住民同士、助け合いの意識をもつ過去の実績やプライドは現在では役に立たない。
- ・話しやすい人間関係。
- ・みんなで話でもできる場が、月に1回位はあると良いと思う。私は70歳になって思うが、思考能力がどんどん低下し、住みやすいまちに超したことはないが、自分がどうこうしようとは思わなくなっている。50代、60代の方に考えてもらい、それに従っていこうと思っている。いざこざの少ないのが一番。自治会に対しても不満はあるが、誰がやっても同じように思う。やはり官がリーダーシップを持ってやってほしいものだ。この町には若い人が少ないので、環境の整備と健康づくり促進だと思っている。また、最近となりに入って来た方の名前もわからず、町内会費等も払っていない所帯もあるのではないだろうか。
- ・自分や自分の家族だけが幸せならば良いという考え方を換えよう。誰もが少しだけ「人の役に立とう。」と思いたい。まちづくりを「担う人」と「世話になる人」に分けて考えないで、誰もが少しだけ担っていただけたいのに。誰もが少しだけ負担したらいいのに。●●町は誰の町。あなたの町です。
- ・コロナの関係で近所の人との話も余りなく顔を見るのも少なく、ゴミ出しの時に会ったときに話をするくらいだったので、これから近所の人との話ができるようになると思う。これから私達はお世話になる事ばかりでよろしく願います。

障がいのある方またはその家族の方にお聞きします

… 該当者が無い場合は回答不要です

問20 あなたは、「住みやすいまちづくり」のために、地域〔白湊地区あるいは各町内会・自治会〕に対してどのようなことを望まれますか。（ご自由に記入下さい。）

(1) 交流の場、ふれあい行事

- ・グレーゾーンの発達障がいのため、参加しやすいイベントがほしい。
- ・家族に障がいがある者だが、私も心も明るく生きたいし、健康にも気をつけたい。色々な良い話を聞かせて頂くことも、明るく生活出来るのではと思う。
- ・手帳（障がい者）を持った家族がいるが、他の家庭でもいらっしやれば知っておけば、いざという時に助け合えるかも。
- ・集まって小さいゲーム等、例えば将棋ゲーム・オセロ等をして楽しんだらどうか。

(2) 見守り、声掛け

(3) 交通、防災、防犯、土木

- ・災害時の支援。

(4) 町づくり、お店、買い物、空き家

- ・日々の買い物が非常に不自由だということ。かつて、つるや（みしまや）ややよいがあった頃の事を思えば雲泥の差。白湊本町や天神町についても同じ。
- ・商売人の町から一般人でも参加出来る町へ。商売を理由に行事に参加しない方が多すぎる。
- ・安心できる。快適である。希望が持てる。
- ・落ちているゴミ（道等に）を入れるゴミ箱、火バサミを街角に置いて欲しい。（ゴミが多い所だけでも良いので） 9号線縦町交差点の西側等はゴミが多い。

(5) 少子高齢化、町内会運営、人材、人間関係

- ・公平
- ・障がい特性の理解、協力
- ・近所づきあいができるように。

(6) 現状維持（特に問題無し）

- ・障がいがあるが、安心して暮らしている。特に要望はない。

しょうがくせい ちゅうがくせい こうこうせい かた おきき … がいとうしゃ な ばあい かいとうふよう
 小学生・中学生・高校生の方にお聞きします … 該当者が無い場合は回答不要です

小学生・中学生・高校生 学年 () 年 男子・女子・回答しない

【問21～問29まで回答をお願いします。】 〔回答数 計29人〕

問21 学校が終わった後は、どこで過ごすことが多いですか？ 2つ〇をつけてください。

	回答数	構成比
1. 自分の家	22	37.9%
2. 放課後児童クラブ	5	8.6%
3. 図書館や公民館などの施設	1	1.7%
4. おじいさん、おばあさんの家	4	6.9%
5. スポ少や習い事など	4	6.9%
6. 友達の家	1	1.7%
7. 公園や遊園地など屋外	3	5.2%
8. その他	3	5.2%
・放課後ディサービス		
〔無回答〕	15	25.9%
計	58	100.0%

問22 土曜日や日曜日など学校が休みの日には、だれと過ごすことが多いですか？
 一番多くあてはまるものに、1つ〇をつけてください。

	回答数	構成比
1. 親と過ごすことが多い。	16	55.2%
2. 友達と過ごすことが多い。	5	17.2%
3. 一人で過ごすことが多い。	3	10.3%
4. おじいさん、おばあさんと過ごすことが多い。	2	6.9%
5. 兄弟・姉妹だけで過ごすことが多い。	0	
6. その他 (スポ少の方々)	1	3.5%
〔無回答〕	2	6.9%
計	29	100.0%

問23 晩ごはんは、だれと一緒に食べますか？

一番多くあてはまるものに、1つ○をつけてください。

	回答数	構成比
1. 大人（親や、おじいさん・おばあさん）と食べる。	27	93.2%
2. 子ども（兄弟・姉妹）だけで食べる。	1	3.4%
3. 一人で食べる。	0	
4. その他（ ）	0	
〔無回答〕	1	3.4%
計	29	100.0%

問24 白潟公民館に行ったことがありますか？ あてはまるものに1つ○をつけてください。

	回答数	構成比
1. ときどき行く。	2	6.9%
2. 行ったことがある。	23	79.2%
3. 行ってみたいけど、行ったことがない。 （どこにあるのかわからない。）	2	6.9%
4. 行きたいと思わない。	1	3.5%
〔無回答〕	1	3.5%
計	29	100.0%

問25 あなたが参加したくなるような公民館活動や地域活動は、どの様な内容ですか？

- ・障がい者や高齢者の話をきく活動
- ・環境美化活動（近所の公園の掃除）
- ・宍道湖周辺のゴミ拾い
- ・料理教室
- ・工作教室
- ・若い（子どもを含む）世代が集まるようなイベント
- ・食べる物がある場所
- ・祭り
- ・分からない。

問26 あなたが住んでいて「いいね。」と思う町はどのような町ですか？ 2つ〇をつけてください。

	回答数	構成比
1. 犯罪の無い安全な町	17	26.1%
2. 自然が豊かな町	6	9.2%
3. お店がある便利な	13	20.0%
4. 公園や遊び場がたくさんある町	8	12.3%
5. 地域みんなが仲良くお付き合いしている町	7	10.8%
6. 困ったときに近所で助け合える町	4	6.2%
7. 人に頼らなくても自由に暮らせる町	4	6.2%
8. その他 ()	0	
〔無回答〕	6	9.2%
計	65	100.0%

問27 「住みよいまちづくり」のために、あなたの意見を聞かせていただく機会があれば、協力していただけますか？ あてはまるものに1つ〇をつけてください。

	回答数	構成比
1. 協力する。	23	79.4%
2. 協力しない、協力出来ない。	3	10.3%
〔無回答〕	3	10.3%
計	29	100.0%

問28 問27で「協力しない、協力出来ない」と回答された方は、その理由を記載してください。

- ・忙しい
- ・なんとなく。

問29 あなたが住んでいる所(町)に対して、ご意見などがあれば、ご自由にお書きください。

- ・町の中心部なのに静かで、岸公園、天神さん白潟など催し物があれば近くて便利。
- ・駐車場が増えて住人が減っていると思う。
- ・信号の待ち時間に比べて、渡れる時間が少ない。
- ・屋内で過ごせる遊び場を増やして欲しい。
- ・公園の遊具を増やして欲しい。
- ・もっと子どもたちが遊べる場所をつくってほしい。
- ・白潟公園の美化活動

健康診断等について

問30 あなたの家族で、35歳以上の方は健康診断・がん検診を受けていますか。
(1つに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. 全員が、毎年受けている	146	41.9%	42.1%
2. 全員が、毎年か数年毎に受けている (_____年に1回程度)	49	14.1%	14.5%
3. 受けていない者もいる	50	14.4%	16.8%
① 65歳以上の方	25	50.0%	40.8%
② 64歳以下の方	21	42.0%	39.8%
〔無回答〕	4	8.0%	19.4%
4. 全員が、受けていない	19	5.5%	7.5%
5. その他	4	1.1%	3.9%
〔無回答〕	80	23.0%	15.2%
計	348	100.0%	100.0%

問31 問30で「受けていない」方がいると回答された方は、その理由は何ですか。
(あてはまるもの全てに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. 健康に自信がある	5	2.8%	5.1%
2. 病院に定期受診している	31	17.4%	31.8%
3. 結果が不安なため受けたくない	11	6.2%	5.6%
4. 受ける方法が分からない	4	2.3%	1.5%
5. 健診費用が負担になる	7	3.9%	6.1%
6. 場所が遠い	3	1.7%	1.0%
7. 時間がない	13	7.3%	13.6%
8. 面倒だから	15	8.5%	12.1%
9. 受ける必要性を感じない	12	6.7%	7.1%
10. 忘れていた	7	3.9%	3.0%
11. その他	7	3.9%	5.0%
・受ける意欲がない			
・がん検診が毎年受診ではない			
〔無回答〕	63	35.4%	8.1%
計	178	100.0%	100.0%

問32 健康診断に関する情報はどこから得られましたか。

(あてはまるもの全てに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. 市報	110	19.7%	26.3%
2. 健診のお知らせ(松江市, 白湯公民館)	153	27.4%	28.2%
3. 広報車(松江市, 白湯公民館)の呼びかけ	12	2.2%	2.1%
4. 民生児童委員・福祉推進員からの声かけ	4	0.7%	0.2%
5. 町内会・自治会からの声かけ	5	0.9%	0.7%
6. かかりつけ医からの声かけ	62	11.1%	11.0%
7. 友人からの誘い	3	0.5%	0.6%
8. 健康受診券の案内	103	18.5%	18.5%
9. その他	41	7.3%	5.4%
・職場など(多数の回答あり)			
・人間ドッグに毎年行っているが、高額のため市の助成を受けているが、3年に1回しか抽選に当たらない。申込者すべてに市の助成をお願いしたい。			
[無回答]	65	11.7%	7.0%
計	558	100.0%	100.0%

健康づくりについて

問33 あなたは、健康づくりとして、今後どのような取り組みが良いと思われますか。

(あてはまるもの全てに○を。)

	回答数	構成比	前回構成比
1. 「健康まつえ21推進隊」の活動 〔健(検)診, 運動, 健康講座〕回数を増やす	42	8.1%	10.6%
2. 検診の受診率を高くする	87	16.7%	20.4%
3. 毎週等の健康ウォーキングを開催する	50	9.6%	8.8%
4. 毎朝等のラジオ体操を開催する	35	6.7%	6.3%
5. 減塩食事の体験会を開催する	28	5.4%	6.5%
6. 健康講演会を開催する	40	7.7%	7.4%
7. 健康に関するチラシ等を配布する	66	12.7%	11.1%
8. 公民館で開催しているサークル活動を紹介する	44	8.5%	6.0%
9. その他	20	3.8%	3.5%
・散歩をする。			
・近くにコーラスの会があれば参加したい。			
・公民館サークルだけでなく、他の活動グループを紹介する。			
・公民館活動は限られた人ばかり参加していて入りにくい。			
・楽しめるレクリエーション			
・「世間話の会」の開催			

- ・健康診断の値段を安くする。 ・YouTubeなどの動画配信。
- ・20代頃からランニング、60代頃からウォーキング、それと共に20代頃から筋トレ、ストレッチを続けているので私には必要ない。
- ・現状ぐらいで良いのでは。 ・本人のやる気次第だと思う。 ・自己管理
- ・人付き合いが苦手。個人的にやるのが良い。

〔無回答〕	108	20.8%	19.4%
計	520	100.0%	100.0%

白潟地区内あるいは各町内会・自治会内の全般について

問34 お住まいの地域に対する良い点、悪い点および地域住民が取り組むべき課題・問題点や要望など、ご自由にお書きください。

(1) 交流の場、ふれあい行事

- ・毎月色々と考え楽しい企画をして下さる民生委員様、●名の福祉推進員の皆様に心より感謝申し上げます。本当に良い町に生かされ幸いなこと。
- ・●●町なごやか会で、中央地域包括支援センターから来られ、とても勉強になり、また家庭での運動、栄養、認知症の話も有り、本当に良い一日であった。
- ・コロナも落ち着いてきて、色々なことが平時に戻ってきている感じがする。地区の方との交流も、これに併せてできるような環境づくりをしていただきたい。
- ・地域の活動に参加しづらい。
- ・初めての人でも参加しやすい雰囲気づくりが重要と思われる。
- ・白潟公民館は他地区の公民館に比べて規模の違いもあろうが、教室の数も少なく、また魅力あるサークルが少ないように思う。例えば、健康に関する”ヨガ教室””からだ元気塾”の導入をお願いしたい。
- ・高齢者が多く参加が少ない。もっと多くの人の参加できるものがあるとよい。
- ・人との出会いの場所がないのが残念です。

(2) 見守り、声掛け

- ・年寄りには閉じこもりがちになるので、なるべくなら町内で寄り合いか聞き取り訪問をして顔見知りになることでつながり、会話ができるので細かな訪問、接触が増えれば少しずつ話せるようになり、相談等も可能になる。
- ・他人に紹介してもらい、サンビルの体操教室に津田公民館に通っているが、色々な公民館でやっていると後になって知った。その情報を知らなかった。高齢者の多い町なので行きたい人も多いと思うが、十分に情報が伝わってないと思う。行きたくても行けない人も多い町。町での一軒一軒まわる相談員兼訪問看護者等検討できないか。役員の方も大変だろうが、来る集まる人だけでなく、家庭への訪問もいかがか。全然知らない人が住まいしておられる家も紹介、名前でも知らせてほしい。防犯上必要ではないか。

(3) 交通, 防災, 防犯, 土木

- ・移動に便利(交通公共)がよい。
- ・駅に近く公共交通が利用しやすくコンビニも近くにあり生活するには便利な地区
- ・災害の時, 誰から連絡がもらえるのか不明。レベル3の時, だれが教えてくれるのか。
- ・天神川の水位がすぐ上昇する。
- ・近所の地区(ごく近い近所)の方と災害時声かけや場所確認、話し合う日を年1回必ず作って頂くとか。
- ・私道沿いのゴミのポイ捨て。ガラの悪い飲み屋が2件あるので酔っ払いが縦横無尽に歩くので通行規制してほしい。また私道を飲み屋の連中かよそ者がものすごいスピードで私道を走るの危険極まりない。取り締まりをぜひやるべき!
- ・最近空き家が増え、若者より老人が多い地区なので盗難や車上荒らしなどの被害を聞く。路地などが多いので各町内の駐車場や人が通る道の電柱などに数カ所防犯カメラを設置されたらと思う。(町内会費の予算に入れたり)都会で、防犯カメラのおかげで事件が早めに解決したのを聞くと余計そう思う。
- ・夏の夜の若い人のパトロール(カチカチと拍子木が鳴ると安心する)
- ・何か月に一回、警察官の訪問があるが、毎月ならうれしい。(一人住まいなので守られている感じがする。安心感)
- ・街灯が少なく不安。
- ・階段等がある場合、手摺があれば良いと思う。穴道湖の近くは風が強いので、歩きにくい所がある。車に乗っている人はわからないと思う。
- ・玄関前に雨降りの都度、水たまりができる。(原因は分からず)地盤沈下と思われる。そのため、雨降りの時は玄関の出入りの際、玄関の内もビショビショになる。良い方法があれば助かる。
- ・歩道を平らにして欲しい。

(4) 町づくり, お店, 買い物, 空き家

- ・冬場の大雪がある場合, 家の前の道の除雪をしてほしい。車が出られないときがあって買物や通勤ができないことがある。基本的には大きな不便は感じてない。繁華街に近いので夜酒に酔って歩いている人はいるものの大きなトラブルはない。
- ・近所づきあいが苦手なので自分の健康管理や運動は自分で考えて行ったり相談している。特に地域活動に参加する必要はない。(地域の人にした事がない。悪いうわさを広められたから。)
- ・良い点は地域みんなが明るいこと。地域が静かなこと。
- ・夜おそくまで外飲みする店があり(外に机やイスを出して)迷惑。声が大きすぎる。近所にお年寄り、子供も多いため、外飲みはやめてほしい。
- ・総じてそれほど不満をもっているわけではない。皆さんそれぞれにがんばっていると思う。このやんわりした感じを維持していけたらと思う。
- ・町内の構成員では活動が無理。公民館内に福祉全般相談窓口を設置する(充実させる)専門職員を配置する。
- ・町内毎に無料駐車場を設けては。
- ・子供があそぶ所が少ない。(暑い時、寒い時、友達とあそぶ所が欲しい)

- ・課題として、人参方の門の維持管理について、文化財的な価値はないが、シンボリック的存在として、松江市（建築審査課景観指導係所管）が持っている。老朽化が進行しているが、どうするのか方向性（解体 or 復元修理）が定まっていない。
- ・住みやすいまちづくり活動に参加したい気持ちはあるが、体力的などで出来ない。
- ・子供が無料で気軽に遊びに行ける室内の施設（遊び場）があれば良いと思う。
- ・次世代（50～60代中心）の人たちが働きやすい環境をつくる。
- ・町がきれい。
- ・子供たちの遊び場所が少ない。作っていただきたい。
- ・高齢化、少人口化。商店街というには寂しい道路沿い。
- ・元NHKの土地利用が気になる。国の物なので白湯地区の人の思いが少しでも叶うよう祈る。
- ・静かで住みやすい所。買物難民と言うが近くにスーパー等がなく困っている。今は車で買物に行くが、いずれ免許返納した時にどうするか困る。
- ・近くに買物に行けるところが少ない。（歩いていける範囲で）街灯が少ない。
- ・買い物に困っている方々がいる。もっと情報があるとよいと思う。
- ・当地区は特に食料品や日用品を購入できる店がないので、高齢者にとってはその点が一番不便を感じる。
- ・買い物が少し不便。近くにドラッグストアがないので作っていただきたい。老人が多いので、あれば便利でよくなると思う。
- ・買い物をする場所が近隣に少ない。
- ・近所に空き家が多く、放ってある庭木が大木になり、うちの二階の屋根に枝を伸ばして（建物の三階位）ビワの実や葉が落ちて桶が詰まって困っている。県外の親族の方に手紙を出しても何も返事がなく、台風などが来ると屋根にも枝が当たり困っている。どこへ苦情を言ったら良いか。解決方法を教えて頂きたい。
- ・高齢化のため、住み慣れた家を捨て去って、廃屋化しているものが目立つのは、悲しく淋しいものです。住む者がいなくなっても、また充分に家屋として利用できるものが多々あるので、その活用を考えられたらよいと思う。街の景観にも、観光文化都市としている以上、一番この問題を解決して欲しいと思う。
- ・私の住む●●町も高齢化が進み、空き家が年々増えてきている。人が住まなくなった家は荒れ果てて、大雨や台風などで危険な状態になる。町内や白湯地区全体で考えていかなければならない課題。
- ・空き家が増えている問題で今後の管理をどうするのか？

(5) 少子高齢化、町内会運営、人材、人間関係

- ・高齢化に伴い町内会の仕事の継続、体育祭、鑿行列の継続が心配。
- ・少子高齢化で何をしてよいか不明。
- ・高齢者が多い為、組長が出来る人が少なくなっている。組内の戸数を調整すべき(町内で)。
- ・人口減少を含めて人（活動をする）が少ない。市役所、福祉センターの連携を深め、協力体制を固めてほしい。
- ・高齢者の多い地域で、子ども（後継者）が少ない世帯が多い。地域活動がどんどん減少している。（仕方がないことではあるが）

- ・若手の活用を。
- ・住民が高齢化しており、活発に動かない、ポチポチやればよいと思う。
- ・悪い点は、住民の平均年齢が高く溝掃除やスポーツ参加など体力が必要な行事ができない。
- ・自治会の世代交代がどうなるか。
- ・特に若い人が少ない地域なので、災害（特に水害）などのあった時の片付け等に皆と協力していける地域であって欲しい。
- ・若い人が少ないが、その中でも若い人の参加が少ないこと。
- ・地域活動に携わる人が高齢化しているので、人材の育成が大切だと思う。
- ・町内には若者が少なく、町内活動に携わってってくれる若い人の育成が課題です。
- ・商売をしている家庭、通いの商売の方も多量中、総会の日程を決めるのも大変であると思うが、6月、7月、9月と色々であり、年々出席者も減り10人未満という現状である。その為、町内への関心が薄く役員も同じ方が10年以上もしているという状態である。役員の決め方、総会のあり方等検討すべきであると思う。しかしずっと同じ状態である。行事も全くなく、町内の方々とかかわることもないのも問題だと思う。
- ・高齢の方が多量中、会長さんより「老人は嫌いなのでなごやか会には参加しない」との発言も問題であると思う。
- ・集会所等があると高齢者の方の居場所づくりにもつながると思う。
- ・鑿行列については、人数不足で出ることが難しい町内は出場をやめるべきだと思う。鑿そのものを他の町内または鑿保存会のような組織に貸せば良いと思う。
- ・今までは仕事中心の生活（土、日も出勤、代替無し）。今後地域での生活に目を向けていこうと思う。
- ・町内の人口減、老齡化により従来通りの組織等の維持が困難になりつつある。特に民生委員の選出には、なり手不足で困っている。町内の枠にとらわれない対応が必要になると思われる。
- ・自治会の役員なり手不足
- ・マンション住民の方は、自治会に入会されない
- ・情報の共有化促進
- ・アパート、マンション、商店、個別住民のコミュニケーション促進
- ・穏やかな方が多量なので（ご挨拶をする程度）安心している。なかなか難しいと思うが、いかにして近所付き合いを良くしていくか、深くしていくかだと思う。これが良くなれば、すべての問題が良くなると思うので、この方法を検討されてはいかがか。
- ・野菜が取れば渡すことはあるが、干渉することもなく快適に過ごしている。ヌートリアとかイタチ？が毎年5月くらいに畑を荒らすことくらいだ。一時は猫の糞が庭にあることがあったが、今はない。川近くで糞との戦いを繰り返している。
- ・町内会の役員さんに負担がかかるが、もう少し町民の声を聞いて楽しい生きがいのある町内になってほしい。自分は高齢で活動は出来ないが、●●町が住みよい町内になるといいといつも思っている。
- ・私は、今まで●●町、●●町、●●町と住んできたが、今住んでいる●●町が町内会や近所の人達との交流などとても住みやすい所だと思っている。今の時代は高齢者社会となって福祉や助け合いが求められる時だと思う。
- ・10年以上住んでいるが、名前や存在を知らない人がいる。挨拶はあまりない。

・当地区町内会は、ほとんど高齢者で若い人が少ない為、町内会長及び役員をする人いないため、去年から会長を班ごと持ち回りにしたが、それでも決まらない状況。町内会運営についても危機的な状況。

・パートなので、団地修繕費がなかなか貯まらない。将来どれくらいかかるのか心配だ。

・団地住まいのため自治会長は年令を問わず、毎年輪番制で統一した雰囲気作りは難しい

・●●町は●●銀行の皆様を支えられている気持ちがある。多くの方が勤務されている。仲良くしてまいる。

・仕事をしているので行事参加できず、ほとんどの活動も良く知らない。申し訳なく思っているが、休日はクタクタ。今までのような町内会活動ではない（方法があれば）参加の方法があればいいなと思う。

・運営企画等実働できるメンバーが限られている、その方々の負担が大きい。

・皆仲良しの町内。

・町内会の行事が沢山あり、参加した時に町内の方と直接会って話ができるのが良い。

・●●町は、子供の頃より町内会がしっかりしていて、全般的には不満は見当たらない。

・今一つ気になるのは、転入者の方が町内会に参加されない、又会費支払いを拒否の方があること。

・●●町は人に会うと時節のあいさつは自然に出てくる。道路で立ち話もする、又よく見かける。ただ昔は子供も多くにぎやかだったが、今頃は外で会う人が少なくなった。なごやか会はいつも出させて頂いている。私は昔から●●町は好きだ。

・町内会役員などのなり手不足

・マンション住民の方の町内・自治会への関わり方

・前例踏襲で、改善検討することに消極的である。

・何事もお互い様の姿勢でやさしさのある風土である。

・人口減少・少子高齢化による役員の成り手不足や活動実施の困難さ。

(6) 現状維持（特に問題無し）

・良くして頂いているので満足している。

・私自身は町内会・自治会の活動においてお世話によることばかりで問題点と思うようなことは特にない。

(7) その他

・地区とかでなく市・県として、コロナにより受けた収入の支援や、物価の高騰の支援をしてほしい。

・私は●●歳になる。年を取ると人生の悲しみを味わうことになる。振り返ってみると、若き日に年寄りの皆様に対し、その悲しみを和らげるような言葉、行動を持って寄り添うことをしたのであろうか、等々、私の心を苦しめる日々である。今更このようなことを思ってもと思いつつ、今自分が置かれている状況は、当然のこととして、甘受しなければと考えている。罪深い私は静かに生かされたいと望む。～豎横の五尺にたらぬ 草の庵 結ぶもくやし 雨なかりせば～仏頂和尚

以上

ご協力ありがとうございました。

福祉活動は、

私たちが「しあわせ」になるための取組み。

だんの らしの あわせ